

ブラジル連邦共和国 生産性・品質向上 終了時評価報告書

平成12年4月

国際協力事業団
鉦工業開発協力部

序 文

コロール政権（当時）は、平成2年6月、輸入の自由化・外貨の導入などの規制緩和や国営企業の民営化を進める一方、品質と生産性の向上を目的としたブラジル品質・生産性プログラム（PBQP）活動を開始しました。このプログラムには、数多くの機関が参加し、16州において独自のプログラムを展開しています。

さらに、ブラジル政府は品質・生産性向上にかかわる活動を専門的に実施する機関として数州においてIBQP（ブラジル品質・生産性機構）を設立することを計画し、貿易・技術協力などの面で関係が深いわが国に対し、技術協力を要請してきました。

それに対し、日本政府は、国際協力事業団（JICA）を通じ、平成6年3月に事前調査団、同年10月に長期調査員を派遣した後、平成7年1月にパラナ州クリチバにIBQP-PR（IBQPパラナ）が設立されたのを受け、同年4月に実施協議調査団を派遣し、R/Dなどを署名・交換しました。

本プロジェクトは、同R/Dに基づき、IBQP-PRが生産性向上の技術および知識を向上・開発できるようにすることを目標として、同年6月1日から5年間の協力を開始しました。

今次調査では、平成12年5月31日の協力期間終了を控え、当初計画に照らしてプロジェクトの活動実績、運営管理状況、カウンターパートへの技術移転状況などを「評価5項目」に沿って調査すると同時に、当初目標の達成度を判定したうえで、今後の協力方針について、ブラジル側評価チーム、実施機関などと協議し、合同評価報告書およびミニッツで確認しました。

本報告書は、同調査団の調査結果を取りまとめたものです。

ここに本調査団の派遣に関し、ご協力いただいた日本およびブラジル両国の関係各位に対し、深甚の謝意を表するとともに、あわせて今後のご支援をお願いする次第です。

平成12年4月

国際協力事業団
理事 大津 幸男

プロジェクトサイト位置図





▲ 合同評価報告書署名
(左 : Nagashima ブラジル側評価チームリーダー、右 : 林団長)



▲ ミニッツ署名
(左からProsdocimo IBQP-PR会長、Lima Bilateral Coordinator of ABC
Lemos Coordinator of Quality and Productivity of MDIO、林団長、
Simone IBQP-NA所長、Milanez Director of Administration and Finance of SEBRAE-PR)

目 次

序文

プロジェクトサイト位置図

写真

第1章 終了時評価調査団の派遣	1
1－1 調査団派遣の経緯と目的	1
1－2 主要調査項目	2
1－3 調査団の構成	2
1－4 調査日程	3
1－5 主要面談者リスト	4
1－6 主要面談録	6
第2章 調査・協議結果概要	12
2－1 終了時評価の実施	12
2－2 合同調整委員会の開催	16
2－3 本プロジェクト終了時までの投入計画	17
2－4 今後の協力	17
2－5 その他	18
第3章 調査・協議結果	19
第4章 調査団所見	28
資料	
1 ミニッツ	35
2 終了時評価調査表	45
3 調査団員報告（技術協力計画、技術移転計画、人材育成）	69
4 合同評価報告書	79
5 IPS IX（International Productivity Symposium IX）パンフレット	213